

2021年度 タスクフォース 知財政策動向TF



2022年3月10日

吉田 裕志

(鐘化企業管理(上海)有限公司)

1. テーマ

「十四・五」計画を切り口として中国の動き（知財政策を含む産業政策）を学ぶ。

個社でフォローするのは非効率なので、中国IPGの場を活用。

将来的には、自社ビジネスに有利な知財戦略の立案・実行に繋がられることを期待。

【本TF開始時の課題認識】

- ・ 中国は産業構造変化のスピードが速い。近年は知財分野の法改正も頻繁。
- ・ 中国での様々な産業構造の変化は、基本的には国家による産業政策（知財政策を含む）に則ったもの。
- ・ 2021年は14次5カ年計画（「十四・五」計画）のスタートの年。ここに、この5年間で中国社会をどう建設し発展させるかの国の意思が示されている。
- ・ 企業の知財部門には、出願権利化といった従来の知財業務に加えて、経営企画や戦略立案に関与する等により一層ビジネスに貢献することが求められてきている。「十四・五」計画の内容を学んで、マクロな視点で中国の動きを理解することは、当該貢献の一助となり得るのではないか。

2. 参加企業・団体

威可楷（中国）投資有限公司	村田（中国）投資有限公司	AGC（中国）投資有限公司
JETRO香港事務所	奥林巴斯（北京）銷售服務有限公司	本田技研工業（中国）投資有限公司
オムロン（中国）有限公司	三菱電機(中国)有限公司	京瓷(中国)商貿有限公司
三菱重工業（中国）有限公司	東芝（中国）有限公司	富士電機（中国）有限会社
花王(中国)研究開發中心有限公司	旭化成（中国）投資有限公司	矢崎（中国）投資有限公司
日立(中国)有限公司	日鉄諮詢(北京)有限公司	尼康映像儀器銷售（中国）有限公司
日産（中国）投資有限公司	理光（中国）投資有限公司	鐘化企業管理（上海）有限公司

順不同、21社・団体が参加

3. 今年度の活動内容

(1) 十四次五カ年計画の学習 (2021.5-9)

- ・メンバー間の相互学習
- ・各メンバーが学習・共有化した資料の纏め（112頁）を成果として取得

(2) 知財強国建設綱要及び知財十四次五カ年計画の学習 (2021.10-2022.1)

- ・政府系シンクタンクによる解説、意見交換 ※参加メンバー限定
- ・ユーザーサイド（北京魏啓学法律事務所）による解説、意見交換

(3) 中国重点産業とその関連する知財政策に関する学習 (2022.1-3)

- ・中国カーボンニュートラル戦略と関連する知財政策に関する解説、意見交換／Uzabase
- ・戦略性新興産業及び関連する発展政策（特に知財政策）に関する調査レポート作成、解説／Chinaway

4. 来年度の活動方針（予定）

リーダー:日本製鉄(浅野)、副リーダー:JETRO香港(松本)

☆我々は中国現地駐在員なんですから、現地に居なければできないことをやりましょう！！

☆我々は中国IPGメンバーなんですから、個社ではできないことをやりましょう！！

◆個社でフォローするのは非効率、中国IPGの場を活用。

◆個社では実現が難しい「有識者ヒアリング」を複数回設定。

◆自社ビジネスに有利な知財戦略の立案・実行に繋がられることを期待。

【2022年度】

(1)さらなる活動として「有識者との勉強会」を、5回開催(隔月)予定。

TFメンバー限りという条件のもとで、有識者から「生の情報(ネット検索では得られない最新情報・本音等)」を引き出しましょう！

(4月までに勉強会テーマ・深堀り調査レポートテーマ等の事前アンケート実施、第1回勉強会は6月度からスタート予定。)

①勉強会前月：有識者への質問案(各社1問以上)集約、討議(優先順位付け、メンバー内での事前意見交換)。

[+ 前回勉強会の後月内容実施]

② " 当月：有識者との勉強会。

(各自の質問に対する有識者回答・討議内容を各自が文字化→会議録まとめ担当へ送付(会議録作成))

③ " 後月：会議録をもとにディスカッション・深堀り(必要に応じ有識者へフィードバック)。

[+ 次回勉強会の前月内容実施]

(2)「深堀り調査レポート作成(外部委託)」予定。

年度の早いタイミングでテーマを選定し、調査・分析内容を十分に検討・精査して発注する。(内容が絞り込めなければ発注しない、)